

I 学校教育目標

自ら考え行動し、未来を切り開く児童生徒の育成

II 前年度に残された課題

III 本年度の重点課題

IV 来年度に残された課題

- ①オンライン学習の充実
- ②読書活動の習慣化と活性化。
- ③地域学校協働活動の定着。
- ④家庭学習の定着と充実。
- ⑤教職員の働き方改革。

- ①伝統文化に触れる学習の充実
- ②ICT環境を活用した学習の充実
- ③豊かな心を育む読書活動の充実
- ④体力向上を目指した体育活動の充実
- ⑤家庭や地域と共に歩む学校づくり

- ①家庭学習習慣の定着と充実。
- ②読書習慣の確立。
- ③体力向上を目指した体育活動の充実
- ④地域学校協働活動の定着
- ⑤教職員の働き方改革

「1」(重点課題番号) 評価項目	[2]具体的達成目標と評価指標	[3]自己評価	[4]外部アンケートの分析		[5]自己評価		[6]学校関係者評価			
	具体的に、何を、いつまでに、 どの水準まで、数値化  公表日 4/12 6/30  公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input checked="" type="checkbox"/> 説明会実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他	中間評価 評価日 9月22日 公表日 10/27 3/5 3/22  公表方法 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input checked="" type="checkbox"/> 説明会実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他	児童生徒アンケート		保護者アンケート		最終評価(成果と課題)		課題の改善策等	
			実施日 9/6~9/8 12/12~1/19	実施日 12/13~1/28	評価日 3月1日		評価日 3月5日			
			公表日 10/27 3/5 3/22	公表日 3/5 3/22	公表日 3/5 3/22		公表日 3月22日			
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作法教室・茶道教室の実施(学期に2回)(小)</li> <li>・茶筌作り体験の実施(中)</li> <li>・伝統音楽(琴、三線)学習の実施(中)</li> <li>・老人クラブとの交流(昔話、昔遊び、グランドゴルフ)</li> <li>・カルタ大会や百人一首大会など和室の有効活用(小・中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道・作法教室で学ぶ意味や、地域の伝統文化や文化財、和の文化やしきたりについて児童が興味を持てるような取組を行った。(小)【肯定的意見70%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道教室や作法教室などで日本の文化やしきたりについて興味を持って勉強した。(小)【肯定的意見72%(中間)→80%(年度末)】</li> <li>・体験学習(茶筌作り体験・筆作り体験・職場体験・子ども園との交流学習等)の時間は楽しい。(中)【肯定的意見95%(年度末)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんは、茶道教室や作法教室などを通じて、日本の文化やしきたりについて興味を持つことができるようになりましたか。(小)【肯定的意見69%】</li> <li>・学校は、様々な体験活動を通してお子さんに生きる力を身に付けていますか。(小)【肯定的意見83%】</li> <li>・体験学習(茶筌作り・筆作り・職場体験・子ども園との交流学習等)が充実している。(中)【肯定的意見93%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道・作法教室で学ぶ意味や、地域の伝統文化や文化財、和の文化やしきたりについて児童が興味を持てるような取組を行った。(小)【肯定的意見70%(中間)→82%(年度末)】</li> <li>・*肯定的意見が82%であり達成できた。教員・児童と保護者の意識に多少の乖離が見られる。</li> <li>・体験的な学習・問題解決的な学習を取り入れ、主体的な学習活動を通して自ら学ぶ意欲と態度を育成している。(中)【肯定的意見100%(年度末)】</li> <li>・*肯定的意見が、100%であった。児童、保護者の肯定的意見の割合も高く、達成できたと考え。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりや学年だより、ツイッター等を活用して学習内容等の情報発信を行い、小学校において「伝統文化に触れる学習の充実」が図られていること理解を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では、茶道教室をはじめとして、伝統文化にふれる学習をしっかりとやってもらっている。</li> <li>・高山は、地区によっては家庭の中で伝統文化を実践していることもある。学校でも、茶道教室や作法教室などをはじめとして、そのことを子どもたちに伝える機会があってもよい。</li> </ul>			
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板、プロジェクター等を活用した授業展開(中)</li> <li>・NHKforShchoolの活用</li> <li>・調べ学習における端末の積極的な活用(小中)</li> <li>・学校行事の発表等の児童生徒によるプレゼンテーションの実施</li> <li>・eライブラリー、ロイロノートを活用した学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板やタブレット端末を使った授業を日常的に行い、タブレット端末を活用した個別学習を実現した。(小)【肯定的意見55%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や家庭学習で、タブレット端末を積極的に活用した。(小)【肯定的意見78%(中間)→82%(年度末)】</li> <li>・プロジェクターやクロムブックなどのICT機器を使用した授業を受けることで、学習への興味が深まった。(中)【肯定的意見75%(年度末)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんは、授業や家庭学習でタブレットを使って学習することで、意欲的に学習に取り組んでいますか。(小)【肯定的意見71%】</li> <li>・子どもは、ICT機器を活用した学習を進めることで、学習内容の理解を進めている。(中)【肯定的意見80%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板やタブレット端末を使った授業を日常的に行い、タブレット端末を活用した個別学習を実現した。(小)【肯定的意見55%(中間)→80%(年度末)】</li> <li>・*中間に比べ、年度末は肯定的意見が25ポイント上昇した。児童の評価も中間に比べ年度末は8ポイント上昇しており、改善が図られ、達成できたと考え。</li> <li>・*児童、生徒、小中のそれぞれの保護者の評価に大きな開きは見られず、肯定的意見が71%から82%であることより、概ね達成できたと考え。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の活動を学級通信等で情報発信することで学習活動について周知し、理解を得るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生の取組や6年生の発表など、1人1台端末になり、子どもたちは使い慣れてきているということが分かった。これからの子どもたちには必要な力であり、しっかりと身に付けさせてほしい。</li> <li>・授業参観の時など、子どもたちがICT機器を活用して学習している様子を、ぜひ見に来たい。</li> </ul>			

③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書や読書ボランティアによる読み聞かせの実施(小)</li> <li>・ビブリオバトルへの参加(中)</li> <li>・保護者向け貸出の実施(学期に2回)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に家庭でも読書する習慣を身につけさせるために、学校図書館を活用して読書への興味関心を持たせた。(小)【肯定的意見50%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家で10分(低学年)20分(中学年)30分(高学年)以上、本を読んでいる。(小)【肯定的意見51%(中間)→62%(年度末)】</li> <li>・積極的に図書室を利用している。(中)【肯定的意見38%(年度末)】</li> <li>・よく読書をしている。(中)【肯定的意見50%(年度末)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんは、家で読書をしていますか。(小)【肯定的意見41%】</li> <li>・子どもは、よく読書をしている。(中)【肯定的意見43%】</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に家庭でも読書する習慣を身につけさせるために、学校図書館を活用して読書への興味関心を持たせた。(小)【肯定的意見50%(中間)→67%(年度末)】</li> <li>・*教員と児童は、中間と比べ評価が上昇した。肯定的意見が60%台であり、概ね達成できたと思われる。しかし、保護者は肯定的意見が41%であることから、次年度への重点課題としたい。</li> <li>・*中学校においては、生徒、保護者ともに肯定的意見が50%を満たさず、改善が必要な項目である。次年度への重点課題としたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書や読書ボランティアによる読み聞かせや、中学生のビブリオバトルへの参加、個人懇談や三者懇談時の保護者向け貸出の取組を保護者に周知し、今以上に協力を求めている。</li> <li>・子どもたちは家庭で、「本よりスマホ」に触れている時間が多いように思う。使用目的はゲームや動画視聴で、注意はしているものの、なかなかスマホ利用が止められない。</li> <li>・学校が続けている朝の「読書タイム」の取組は良いことなので、これからも継続してほしい。もしかしたら子どもたちにとって、読書量は「読書タイム」で十分と思っているのかもしれない。</li> <li>・中学校の取組であるビブリオバトルを通じて、生徒たちの読書への関心は高まっていたと思う。その時期にアンケートをすれば、肯定評価が増えて結果が変わっていたかもしれない。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝の体操」、「うきうきタイム」の取り組みの推進(小)</li> <li>・学習カードなどの活用による学習意欲の向上(小)</li> <li>・準備運動の充実(小・中)</li> <li>・耐寒かけ足やかけ足納め会の実施(小)</li> <li>・部活動の再編による活動の活性化(中)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に外遊びをすすめたり、一緒に遊んだりして、児童が外で元気に遊ぶように環境を整備した。(小)【肯定的意見45%】</li> <li>・児童が意欲的に体を動かすよう体育の授業を工夫し、十分な運動量を確保した。(小)【肯定的意見80%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間はなるべく外に出て遊んだり、運動したりしている。(小)【肯定的意見67%(中間)→71%(年度末)】</li> <li>・体育の時間には、しっかりと体を動かして運動した。(小)【肯定的意見92%(中間)→95%(年度末)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんは、積極的に体を動かし、外遊びや運動をしていますか。(小)【肯定的意見69%】</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に外遊びをすすめたり、一緒に遊んだりして、児童が外で元気に遊ぶように環境を整備した。(小)【肯定的意見45%(中間)→65%(年度末)】</li> <li>・*中間に比べ肯定的意見が20ポイント上昇し、取組に改善が見られた。また、児童の評価においても、中間と比べ年度末には達成率が上昇しているため、概ね達成されたと思われる。しかしながら、教員、保護者ともにまだ達成率が7割を満たしておらず、次年度も継続して取組の改善を図っていききたい。</li> <li>・児童が意欲的に体を動かすよう体育の授業を工夫し、十分な運動量を確保した。【肯定的意見80%(中間)→100%(年度末)】</li> <li>・*中間と比べ、年度末は20ポイント上昇し、肯定評価が100%であった。児童の肯定評価も中間に比べ上昇し、95%であったことより十分達成できたと考え。今後も継続して、取組の充実を図っていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしタイムやうきうきタイムの取組を継続させるとともに、それらの取組の内容の改善と強化を図っていく。</li> <li>・子どもたちには、外遊びが足りていない気がする。子どもたちは外遊びを知らないが、子どもに遊びを教える機会が少ない。老人会の役員が昔遊びを教えに来ていますが、限定的で量が足りていないので、休み時間に、地域の老人が子どもたちの遊びの様子を見守るなどの取組があっても良いのではないか。広く地域の人が参加できる組織作りをしてほしい。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクール(学校運営協議会と地域学校協働本部)の組織づくりと推進</li> <li>・育友会総会、役員会での情報発信(学期に1回)</li> <li>・学校だよりによる情報発信(毎月)</li> <li>・ホームページとTwitterによる情報発信</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを毎月発行し、ホームページにアップするとともに、自治会へ配布した。</li> <li>・小中ともに、ホームページとTwitterを用いて、適宜、情報発信を行った。</li> <li>・臨時的なものも含め、学校運営協議会を年に4回実施した。臨時的なものを除く3回は学校関係者評価委員会を兼ね、学校・地域・家庭が協働して学校運営の評価を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、外部人材を招いて体験活動を取り入れた学習を進めるなど、地域の教育力を生かした教育を行っていますか。(小)【肯定的意見83%】</li> <li>・学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝え、家庭と連携を図ろうとしていますか。(小)【肯定的意見83%】</li> <li>・学校は、教育方針等を分かりやすく伝えている。(中)【肯定的意見78%】</li> <li>・学校は、家庭との連絡をきめ細かく行っている。(中)【肯定的意見80%】</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを毎月発行し、ホームページにアップするとともに、自治会へ配布した。</li> <li>・小中ともに、ホームページとTwitterを用いて、適宜、情報発信を行った。</li> <li>・臨時的なものも含め、学校運営協議会を年に4回実施した。臨時的なものを除く3回は学校関係者評価委員会を兼ね、学校・地域・家庭が協働して学校運営の評価を行った。</li> <li>【保護者アンケートの結果】</li> <li>・学校は、外部人材を招いて体験活動を取り入れた学習を進めるなど、地域の教育力を生かした教育を行っていますか。(小)【肯定的意見83%】</li> <li>・学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝え、家庭と連携を図ろうとしていますか。(小)【肯定的意見83%】</li> <li>・学校は、教育方針等を分かりやすく伝えている。(中)【肯定的意見78%】</li> <li>・学校は、家庭との連絡をきめ細かく行っている。(中)【肯定的意見80%】</li> <li>・*教員、児童生徒アンケートに該当項目はないが、保護者アンケートの結果及び、評価指標である取組の実施より、達成できたと考え。今後も、学校と地域の協働を継続発展させていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を開催し、学校と地域で課題を共有する仕組みの構築ができた。今後は、この仕組みをさらに発展させて、地域学校協働活動につなげていきたい。学校運営協議会や地域学校協働本部といった地域連携のあり方について、今後、育友会を通じて保護者への周知をさらに図っていく。</li> <li>・コミュニティスクールのことを地域の人間に知ってもらうために、伝える方法をもっと工夫して「どういふことをやりたいのか」をしっかりと伝えていく方がよい。</li> <li>・保護者のほとんどが「学校運営協議会」のことを知らない。地域へのアピールもよいが、まずは、保護者が理解することから始めるべき。学校にそのことを考えてほしい。</li> <li>・学校だよりをしっかりと作ってもらっているが、自治会の回覧で学校だよりが回って来ても、縮小されていて見にくかったり、忙しくてすぐ回したりして、見ていないことが多いように思われる。自治会を支えているのはお年寄りなので、その人たちが見に来る運動会で、学校だよりを配ってみてはどうか。</li> <li>・全体的に、もっと学校の情報を発信して欲しい。今までの方法だけでなく、道行く人が見られるような掲示板の設置など、気軽に情報が得られる取組を考えて欲しい。</li> <li>・安全上、知らない人には話しかけない子どもが増えてきているので、もっと地域の人と顔を合わせる機会を増やして、子どもの「知っている人」を増やして欲しい。</li> </ul>